
早起きは

境康隆

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

早起きは

【Nコード】

N6094Q

【作者名】

境康隆

【あらすじ】

早起きは辛い。だから俺は友人に起こしてくれと頼んでみた

「早起きは辛い。心底辛い。情眠という至高の幸福から、日常という最低な現実に戻される瞬間。それが目覚めだ。それを少しでも早く迎えるのだから、早起きなどというのは拷問以外の何ものでもない。いつまでも眠っていたい。だらだらしていたい。夢の中で見たいものだけ見ていたい。だが残念ながら世の中そうは問屋が降ろさない。今淡い夢を見ていれば、後で痛い目を見るのは、火を見るより明らかだからだ。いろいろと夢見がちな俺。このまま眠っていても、大丈夫なんじゃないかなといつも起きる前は思ってしまう。勿論現実はそのはいかない。俺は二度寝の後に慌てて飛び起き、転びそうになりながら朝の準備を整えて部屋を飛び出す。いつもそうだ。今日もそうだ。いや、今まさにそうだ。もうすぐ起きなければならぬ。このとりとめのない思考という半覚醒の状態から、曲がりなりにもしゃきと目を覚まさないといけない瞬間がやってくる。この状況では今日も無理かもしれない。いつも起きる前は言い訳めいた夢を見るからだ。だが今日は少しだけ状況が違う。友人が泊まりにきているのだ。友人は早起きできない俺の為に、今日の朝は起こしてくれると約束してくれた。ありがたい。何故なら最近寝坊が過ぎて、周囲から冷たい目で見られていたからだ。今日は何とかなりそうだ。この友人が俺を起こしてくれる。ああ、ただ何か寝る前に友人は言っていたな。何だっけな。確か、何か頼まれた。そしてその頼み事を聞いてくれるのなら、俺を起こしてくれると約束してくれた。俺は確かに友人の言葉に納得して、それを約束したのだ。ええっと、何だっけな。確かにそれなら确实だと思ったんだ。ああ、そうだ。俺を起こす為に友人を起こさないといけないんだ。そして確実に目を覚ました友人が、俺を時間通りに起こしてくれるんだ。そうだ。友人が俺を起こす一分前に、俺が友人を起こしてやると約束した。よし、完璧だ。これで、早起きできるぞ。ぐうー」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6094q/>

早起きは

2011年2月4日11時56分発行